



小島友実の あの馬の STORY



武井調教師のスマホから再生される馬のいななき音に
ピタッと集中するラージアンサンプル

ラージアンサンプル

ラージアンサンプルはグリーンファームと武井亮調教師のごおなじみの血統馬。昨年12月14日「デビュー3戦目だった中山芝2000m」戦で初勝利を挙げた際私の(X(Twitter)の)おあちめ・本日の「ユースには」ラージアンサンプル中山3Rから馬身差圧勝して掲載されていました。それはご印象的な勝ち方で、ポスト数が多かったという事ですね。

父はハンバトル。そして母ナスフォルテは武井調教師が管理し、タート1800mで2勝。1歳募集時のインタビューでは「初仔ですが、がっちりした馬体。ナスフォルテの妹のアイリッシュムーンや弟のソウルアントジャズに比べてもパフタイプを感じがします。でもタートでも走れると思います」と話していたのを覚えています。

ラージアンサンプルは昨年8月末に美浦トレセン初入厩。9月27日の中山タート1800mで始動して着てきた。

「調教がそんなに動いておらず、スピードも不足している印象だったので、タートでデビューしました。実戦ではキックバックにひびきます。最後に脚を使ってみましたし、現段階での完成度でこれだけ走れるのかと感じました」

2戦目もタート戦入向かう話があったものの、10月12日の京都芝2000mへ。その理由を武井師に聞きました。

「タート入の出走を続けた場合、5着以内には来るけど勝ち切れない状況が続く可能性があると感じました。そうなることを試す機会がなくなってしまう。10月12日の京都戦は頭数が少なかつ

た事もあり、向かいました」

その初めての芝レースは4着でした。

「中盤一度ポジションが下がるも、直線を外から脚を伸ばしたレース内容には驚きました。ほかの馬に比べれば上がりスピードが速かったです。上がり3ハロン3位、芝もいけるなと感じました」

レース後、骨に異常はなかったものの前駆勢帯に張りが出たため、NEVERAへ放牧。ラージアンサンプルが復帰戦となった3戦目で初勝利をマークした事は前述の通りです。

「放牧から戻ってきた後、完成度が低い中でもこの馬としては前より動けるようになり、着実に成長していると感じていました。しかし初勝利を挙げたレースは想像していた以上に強い内容でしたね。

ポジションは中団で悪くなかったけど内に入ってしまった。脚がないから外に出られず、はたして着らうかなと思ってしまう。そうしたら4コーナーで前が開けて普通に脚を使ったから、ひびひびしました。ただ、勝ち時計が遅いし、脚を使っただけでも上がりが35.9秒だったのでレース後、僕はまだ半信半疑でした。でも、岩田望来騎手は厩舎スタッフに「前が開かなくても、割って出た方がいいと思う」と話していただきました。後日、岩田騎手は「すごく良い馬です」と言ってくれたので、僕の見立てが違っていたという感じですね(苦笑)」

3戦目の後、美浦トレセンに行き、ラージアンサンプルに会ってきました。師に長所や評価などを伺いました。

「ナスフォルテは一族の中で、こんな

なに冷静に走れる馬はいません。これがこの馬の最大の特徴ですね。母のナスフォルテはキックバックを極端に嫌がる面があったけど、ラージアンサンプルは大丈夫。無駄なところの力を使わないから、自分が持っている能力をすべて出せる強みがある。現段階での課題は手前を変えろのが上手じゃないし、体も成長途上。成長が追いついて、今の落ち着きを維持できれば、もっと上に行けると思っています」

今後の目標や適性についてはこのように話していました。

「1勝クラスは勝てる。このまま成長していけば勝クラスも勝てると思います。だから準オープンクラスまでで行ってくれるのではないかと考えています。長距離適性があるので、3歳の最大目標は菊花賞です。ご主人が抱く期待を上の方に裏切らないでいるので、今後期待の上を行って欲しいと思います。調教でも乗り手に従順で、扱いやすいです。これからは落ち着きを維持し、長く活躍できる馬に成長してほしいですね」

師のツインショットを撮る際、武井調教師がスマホで馬のいななき音を再生すると、「ピタッと正面を向いた」ラージアンサンプル。頭の良さを、扱いやすさが垣間見られた瞬間でした。

4戦目は京成林に挑戦する予定でしたが、グリーンファームホームページで発表があった通り、一時的に熱が上がったため回避となりました。平熱に下がってからは飼育も食へている様子から、次のレースを楽しみにしていますね。

profile

競馬キャスター&ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマホアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2024年「馬場のすべて教えます2(主婦の友社刊)」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。